

## 座談会を終えて

時間が過ぎるのも忘れるような、皆様方の熱い思いがずいぶんと出ましたが、紙面の関係で、主なところのみの記載になりましたこととお詫びします。今回、自治会としての同じような悩みや問題などがあることがよくわかりました。

- ◎自治会員の高齢化による活動力の減少
- ◎自治会への関心の希薄化による自治会加入者の減少
- ◎近所づきあいの減少による人間関係の希薄化
- ◎顔と顔の見える自治会の減少

今後は出席者の皆さんが声をそろえて言われたように、自治振興会が実施する地域づくりに関心



矢原第2住宅の入口に設置された地域づくり計画のスローガン看板

をもち、「明るく 住みよい おおとし」づくりに協力をするために、自分のこととして地域を考え、皆さんのお考えやご意見を出してほしいと思います。皆で考えながら生の声を吸い上げ、実行に移して、より良い地域づくりを願うばかりです。

## おおとしかわら版 Information

### ■みんなの活動の場…愛称決定!

前号のかわら版で皆さんから募集しました山口市大歳地域交流ステーション(大歳駅)の愛称が決定しました。

## 交流列車 おおとし

多数の応募の中から見事に選ばれたのは「交流列車おおとし」です。残念ながら当選した方のお名前をご本人のご希望によりお知らせすることができませんが、大歳の明るい未来…地域づくりに向けて、みんなで出発し、みんなで仲良く乗っていけるような場所!施設!乗り物…?になってほしい、との思いが込められているそうです。

さあ、皆さん4月から地域の交流・ふれあい活動の場、そして地域づくりの場として、「交流列車おおとし」で一緒に活動を始めましょう。

### ◎利用申込にあたっての注意

- ・まずは空き状況を電話でご確認ください。
- ・3月21日から受付を開始します。(平日の午前9時~午後4時の間に受付)
- ・利用日の1ヶ月前から予約できます。
- ・申込先は、ワークステーション大歳です。
- ・電話番号は、083-922-6860です。
- ・詳細については、大歳自治振興会事務局へお問い合わせください(電話922-4035)。

## 行/事/予/定 3~4月

- 3月16日(金) 大歳小学校 卒業式
- 4月 3日(火) 大歳体育振興会 総会
- 4月 9日(月) 鴻南中学校 入学式
- 4月10日(火) 大歳小学校 入学式
- 4月18日(水) 大歳地区戦没者追悼慰霊祭
- 4月18日(水) 大歳自治振興会 総会
- 4月18日(水) 大歳地区社会福祉協議会 総会
- 4月22日(日) 第53回大歳地区体育祭



### 編集後記

じゃがいもがなかなか芽を出さない。寒さのためだろうか。そこで東北の被災地の寒さを思う。被災直後の支援の輪は「人間は信じるに足る」の思いを広げたが、進まぬ復興が寒さを倍加させてはいないのか。巡りくる3・11には、「キヲクのキロク」を蘇らせ、この日から春への歩みがはやまるよう、行動したいものです。(武波)

# まちづくり おおとし かわら版 2012.3 Vol.14

## まさかの備えは「あんしんカード」で 民生委員が高齢者の方にお配りします

健康福祉部会からのお知らせ

団塊の世代が65歳に突入り始めるなど、高齢化が急速に進み、大歳自治振興会健康福祉部会の活動が目まぐるしくなっています。

ともすれば引きこもりがちな高齢者の方の健康や日々の生活の様子を「見守る」活動、訪問し相談にのる活動に加えて、地区社会福祉協議会とタイアップしての敬老祝賀会や年3回のふれあい弁当などの支援に取り組んできました。

近年は高齢者の方が楽しく過ごせる場としての「ふれあいサロン」づくりをすすめ、現在、大歳地区内で6つのサロンが活動されています。これをすべての自治会レベルに広げようと、24年度は「出前サロン」も計画しています。

高齢者の方が心身共に健康で暮らせることを大事にする大切さとともに「いざ」という時の備えをすることも大切と「あんしんカード」を作りまします。

大歳地区には65歳以上のひとり暮らしの高齢者の方と75歳以上で高齢者ふたり暮らしの方が480人近くいらっしゃいます。

「あんしんカード」には、地域の相談役である民生委員や福祉員、自治会長の名前と電話番号を記入できるようになっています。緊急時の連絡方法だけでなく、悩みや困りごとの相談も気軽にできるよう工夫されています。一緒に配布するマグネットに挟んで、冷蔵庫にぶら下げることができます。ぜひご利用下さい。

また、財布に入れておいて、身分証明代わりにする携帯用も用意しています。

なお70歳以上の方で、同居の方がいらっしゃる方でも日中はおひとりでご過ごされる方も用意しています。こちらは申し込まれた方に配布しますので、地区担当の民生委員または福祉員にお申し付け下さい。



実物の見本は、大歳地域交流センター前の掲示板「みてみてボード」に掲示してあります。

マグネットでポン、これで安心、「まさか」の備え

財布にポン、外での「まさか」に備えます。



大歳自治振興会ホームページも見てね! <http://ootoshi-comm.info/>

大歳自治振興会

検索

# 「明るく 住みよい おおとし」をめざして

大歳  
自治会長  
座談会

今年度を締めるといことで、5自治会(富田原、上湯田上、矢原住宅、鴨原、勝井)の自治会長さんにお集まりいただき、自治会の運営や、地域づくりに対する熱い思い、これからのかわり方について、皆さんに座談会で語っていただきました。

**吉富さん(上湯田上)：**地域の活性化を図るには、自治会長の音頭取りが重要となってきていますが、自治会長の役割が増えていると同時に、自治会内では会長を選ぶのが難しくなっている感があります。私の3年を振り返ってみますと、皆さんに私がこんな事をしたいのだろうとご理解いただき、少しずつ協力者が出てきて、それがもっともっと増えるのを期待しながら、やるしかないと思っただけですが、地域の方はうまく対応していただけるようになったと思います。また、皆さんのふれ合いについては3年前からいろいろと仕掛けてきて、やっと定着し始めたのが地域づくりの中に盛り込んだ1自治会1事業です。



勝井勝治さん  
(22・23年度 勝井)

るようにになりました。実際に物事を進めるにあたって、後半の半年では何も進みませんでした。残りの1年間は自治振興会とかかわったおかげで、いろんなことが少しずつできてきました。地域の中で沢山のことが1年でできたように思いますが、以前からの懸案事項でありました統一の公会堂建設、子ども会の復活はまだできておりません。皆さんのご理解が得られるまで、継続的に自治会長に引き継いでいきたいと思っています。

**中村さん(矢原住宅)：**前回、自治会長になった時はゴミステーションを作りました。今回は自治振興会から示された1自治会1事業を利用して行事をおこなったところ沢山の皆さんが参加されました。心もふれ合えるし、癒されるし、大変よかったと思っています。参加いた



だいた0歳から98(19~21・23年度 上湯田上)歳までの皆さんから、「50年住んで一番楽しい」、「こんなことは初めてで次回もやってください」と言われました。人の繋がりが沢山のことで、今回は自治会長として沢山のことができました。

**田中さん(鴨原)：**鴨原団地は、非常に難しい、なぜかと言いますと高齢化が進み、60歳以下の方が非常に少なくなっています。団地ができて30数年が経ち、お子さん達も都会に出ておられ、7割ぐらいは帰ってこれないと思います。前回、自治会長をやった頃と比べて、皆さんが高齢化して何もしたくない、何にも参加できない感じの団地になってしまいました。今後どういう方向で、町内会を運営していくかが一番問題だと思います。鴨原ではもうすで



中村信子さん  
(16・23年度 矢原住宅)

にそのことが始まっており、非常に自治会の運営に支障をきたしています。自主防災関係も、年をとった方々でのやり方があるのではなかろうかと思いますが、他の自治会と同じような防災対策はできないのが実状です。やれる範囲のことを考えてやろうと今考えております。

**宮田さん(富田原)：**少子高齢化の波が押し寄せてきています。富田原の世帯数は93世帯で、自治会員は45世帯、非自治会員が48世帯です。中でもひとり暮らしの方が全体の32%を占めています。大歳地区での行事には、富田原からの距離もあり、なかなか参加する人が少なくなっています。私は自治会長受けて2年になりますが、地域づくり計画に基づきます1自治会1事業をやらせていただきました。22年度はラジオ体操とお手玉作り、23年度はラジオ体操とお菓子作り教室をやりました。ラジオ体操をはじめ、皆さんがすごく喜ばれて沢山の皆さんが出てこられ、ふれ合うことができ、私も元気をいただくことができました。また、地域内の専門の方に講師になっていただき、いろん



田中敏彦さん  
(1・12・23年度 鴨原)

なことをやることができました。

**中村さん：**ところで自治振興会では、話によると24年度はラジオ体操をして、子ども達とふれ合お



うと考えておられるとか？

**吉富さん：**地域住民のコミュニケーションをとるという意味で、24年度は夏休みに子ども達を中心にラジオ体操の実施を促進していこうと計画しています。これは地域に子どもの顔を見せ、保護者も住民の顔を見て、親しくなり、相談や接しやすくなればと考えるものです。このことは小さな問題は地域の皆さんが考え、地域が一体となって解決をしていくことにつながると思います。

**田中さん：**最近地域の子どもの注意すると保護者が我々に向かっていろんな意見を言うてくるのが多く、今地域が崩れている証だと思えます。地域がもち直さないとダメだと感じます。

**勝井さん：**地域づくり計画は今年で3年目ですが、地域づくりといふものについて、大きなことをやろうと

すると自治会の動きが鈍くなります。大切なことは地道にコツコツと続けることだと思います。

**吉富さん：**地域づくりは、ルールに乗ってしまえば、後はそれぞれうまく進んでいくと思います。地域づくりというのは、その地域の方法で、人々でやっていくということが最終目的です。



宮田俊昭さん  
(22・23年度 富田原)